

2024年度

ニチイキッズ葛野三条保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月15日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の理念に則り園内研修の充実とともに保育内容について話し合い子どもたちが自身の思いを十分発揮できる活動の立案計画を心がけた。近隣施設との交流を始め、子どもたちの遊びの場を広げ新たな取組を実行することができた。
子どもの発達援助	子どもの成長や発達などについて常に情報共有し、どの職員が対応しても同じ関りになるように心がけた。子どもの安心につなげられるよう職員が共通理解のもと子どもの理解に基づく声かけや援助を行った。子どもの困りについて全職員で話し合い考える機会を都度とることにより子どもの発達理解が深められた。
保護者に対する支援	保護者参加の行事を見直し、人数制限を設けず親子で一緒に楽しめる行事を実施することができた。保護者とともに、子どもの成長について思いを分かち合えるよう今後もさらに工夫していきたい。
保育を支える組織的基盤	外部研修にも積極的に参加し、個人のレベルアップをはかった。研修や交流で学んだ知識や技術を全体で共有し、実際に保育に取り入れることで職員全体の理解を深めることができた。

総評
地域に根ざした保育施設を目標に取り組んだ一年となった。近隣施設との遊び場の共有や職員交流、自治体施設長会での研修会など充実した取組が行えた。さらに園内祭り行事に於いて地域住民の参加や自治体広報誌を見て参加されたご家族があったことは大きな成果と言える。また、施設利用者に於いても、「給食試食会」「保育懇談会」「ハロウィンパレード」など、内容を充実させることができ、保護者にも一緒に楽しんで参加してもらいたいという保育士の思いは達成された。今後も課題に関しては、個人ではなく園全体の課題として捉え、積極的に改善に取り組み、職員が同じ方向性をもって丁寧な保育を心掛けることで、子どもたちの安全、保護者の安心を考えた保育に努めていきたい。